



高知県北川村役場
広報

またがわ

10

No. 638

Oct 2019



キャンドルナイト

Contents

納涼祭	1
敬老会	4
モネの庭からのお知らせ	4
中岡慎太郎先生顕彰会だより	5
学校通信	6 7
日本遺産魅力発信便り	8
各種お知らせ	14
保健だより	15
みどり保育所PHOTO通信・予定表	16

北川村の人口・世帯数

令和元年8月31日現在 ()は前月比

人 口	1,284人 (+3)
男	603人 (+1)
女	681人 (+2)
世帯数	617戸 (±0)
昨年同期の総人口	1,317人 世帯数629戸

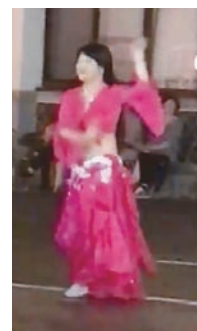


2019 北川村納涼祭 & 24時間テレビチャリティ募金開催

令和元年8月24日(土)、北川村納涼祭と24時間テレビチャリティ募金が行われました。毎年恒例の「よさこい鳴子踊り」「七夕踊り」「炭坑節」「ふるさと北川音頭」を参加者全員で踊って祭りが始まりました。

今年は、保育園、やまなみ太鼓、子どもチャレンジチーム、アロハラウレア田野の出演に加え、小学生チームの踊り、Airiのベリーダンスが参加し、さらに子供たちのリクエストによる大声大会を行うなど雨にも関わらず大いに盛り上がりしました。

また、24時間テレビでは今年も多くの方が募金して下さい、305,649円の募金が集まりました。皆様からのご協力本当にありがとうございました。



北川村自主防災訓練の実施!!

9月1日(日)、北川村で豪雨災害が発生したと想定して、村内全域で自主防災訓練を行いました。

当日は村内に組織されている自主防災組織がそれぞれ独自に避難訓練、防災倉庫の点検、放水訓練、防災学習会、応急手当訓練を実施し、災害に備えました。

最近台風や集中豪雨による災害が多発しています。こういった災害による被災者0を目指し、今後も訓練していきましょう。



子ども会の体験活動

8月3日(土)、室戸市の国立青少年自然の家で北川村子ども会の体験活動が開催され、児童15名、保護者7名の総勢22名が参加しました。

当日は天候にも恵まれ、午前中はピザ作り、午後はおはし作りを行いました。ピザ作りでは、生地が手にひついたり、窯の熱さにびっくりしたりしましたが、無事出来上がり、おいしくいただきました。午後のおはし作りでは、小刀で竹を削って作りました。作業中は夢中になって無言になるほど集中し、大小、長さ、個性豊かなおはしが完成しました。最後の記念撮影では、おはしピースでパシャリ。夏休み親子での良い思い出ができました。





令和元年度

敬老会

金婚夫婦の
ご紹介
松本 壽雄(夫)
富江(妻)
濱渦 弘(夫)
晴美(妻)

令和元年9月7日(土)、北川村敬老会が村民会館大ホールで開催されました。

式典では、来賓の方々からの祝辞やみどり保育園児の元気いっぱいの踊り、北川小学校児童、北川中学校生徒による歌などが敬老の皆様に贈られました。

午後からは、各グループによる趣向を凝らした演芸が行われました。子どもたちが参加したよさこいや副村長も参加して中北部婦人会の方々や炭坑節を踊り敬老者達と踊るなど、会場は大盛り上がりで、演目ごとに大きな拍手が送られました。

今年度、金婚式を迎えられるご夫婦の皆様おめでとうございます。



モネの庭のお知らせ



2020年春、
光の庭が生まれ変わります。



モネが43歳の頃にルノアールと旅した地中海ボルディゲラ。その地でそれまで見たことのない光と色の鮮やかな景色に心奪われ、その世界観を生涯をかけて追及すべくジヴェルニーに「モネの庭」をつくり、多くの作品を残しました。画家人生の転機となったのが、このボルディゲラの風景。北川村「モネの庭」マルモッタンの20周年記念としてその風景を鮮明に再現します。フランスと北川村のモネの庭が協力しあってつくられる、日仏合作の新しい庭は2020年春完成です。お楽しみに。

※工事期間中は「光の庭」と「遊歩道」の一部への立ち入りができません。ご迷惑をおかけいたしますがご了承ください。



カフェ「モネの家」
☆秋のメニューになりました。



↑ ハーフブッフェは60分
間おかわり自由です☆

食欲の秋の到来です♪
カフェモネの家では秋のメニューが登場。モネレシピを元にしたお料理も♪
今回は選べるメイン料理とハーフブッフェが楽しめるランチメニューになりました。



「モネの庭」
入園料改訂のお知らせ

2019年10月1日より、入園料を下記の通り改訂いたします。
村民の皆さまは今まで通り、村民パスポートでご入園いただけます。

大人 730円 / 小中学生 310円
【団体】大人 660円 / 小中学生 280円 (団体は10名様以上)
年間パスポート 2,100円

【お問い合わせ】

北川村「モネの庭」マルモッタン
〒781-6441

高知県安芸郡北川村野友甲1100番地
☎0887-32-1233 ☎0887-32-1243

<https://www.kjmonet.jp/> 休園日：毎週火曜日
★SNSで日々の庭情報発信中。ぜひご覧ください♪





中岡慎太郎先生顕彰会だより



特定非営利活動法人 中岡慎太郎先生顕彰会 ☎38-2413

薩土討幕之密約記念碑

昨年は、自由民権運動代表的指導者として知られる「板垣退助」没後100年の年でした。当会は「板垣退助先生顕彰会」様とご縁をいただき、命日の9月29日に東京品川「高源院」板垣退助墓前で執り行われた『板垣退助伯薨去百回忌顕彰祭』参列のご案内をいただきました。あいにく、参列への調整が叶いませんでしたが、その後もご縁を繋いでいただき、板垣退助先生顕彰会様が取り組んでおられる『100年記念事業』に関するご案内をいただいております。

今年度、『100年記念事業』の一環で、京都祇園に『戊辰戦争151年 薩土討幕之密約記念碑』を建立されました。これは、中岡慎太郎・西郷隆盛・板垣退助ら勤皇の維新三傑を顕彰する石碑で、維新三傑とゆかり深き京都祇園に建立されました。令和元年9月22日に除幕式を行い、当会へも参加のご案内をいただきましたので、今回こそは、と当会理事長が代表して参加させていただく事といたしました。

中岡慎太郎と同時期を生き、共に「討幕」を誓った板垣退助の顕彰会と慎太郎の顕彰会が縁を繋ぐ事ができた事に深い意味を感じています。

板垣退助先生顕彰会様の積極的な顕彰活動を手本の一つとし、当会も中岡慎太郎先生顕彰活動に努めていきます。

★碑は京都祇園（京都市東山区清本町368-3 祇園K.Sメトロビル前）にあります。ご機会がございましたら皆さまで一度、お訪ねください。

最寄り駅：阪急電車 四条河原町／京阪電車 祇園四条



慎太郎食堂 1日限定の「ゆずランチ」

慎太郎食堂をオープンして早2ヶ月。

「また来たよ〜!」と何度も利用してくださる村民さんや、事前に予約のご連絡をくださるお客様も増えて、当会店舗がイキイキしてきました。

応援してくださる村民さんが多い事に、店主も、私達も嬉しい驚きを感じています。本当にありがとうございます。

さて、今年の『慎太郎とゆずの郷祭り』は10月27日(日)。毎年、中岡慎太郎館周辺が第二会場となるこの日、慎太郎食堂では通常メニューの『北川ランチ』を、ゆず祭りの日限定で『ゆずランチ』に変更します。店主に「ゆず祭りなので、柚子をふんだんに使った『ゆずランチ』なんてどうですか?」と提案したところ、「いいですね!」と即答。決定です。

ひとまずは一日限定なのですが、皆さまに好評でしたら定番メニューの仲間入りになるかも!?しれません。どんな内容になるのかはお楽しみ、ということで、限定メニューの『ゆずランチ』を是非ご賞味ください。

10月27日(日)はゆず祭り第二会場でお待ちしています。

中岡慎太郎先生顕彰会 会員募集

北川村の宝☆中岡慎太郎先生の魅力を一緒に学び、
次世代へ伝えていきませんか??
皆様のご賛同、心よりお待ちしております。



会費：正会員2,000円・賛助会員1,000円 ※会員様はドリンク類が100円☆



小学校

1 平和を考える

今年も8月5日の登校日に合わせて、平和集会・学習を行いました。

ホールに集まって1学期から練習してきた「青い空は」を歌い、校長先生のお話を聞きました。校長先生からは、戦時中の大変な暮らしの様子や、戦後74年間戦争のない国で私たちは生活してきたこと、世界の国の中には、今でも戦争をしている国がたくさんあること、平和について今日のように考える時間を持つことが大切なこと、戦争を起こさない、やめさせるために自分にできることを考えながら、その時間をすごしてほしいという話がされ、子ども達はそれぞれ、真剣に考えていました。

8月6日は、74年前、歴史上初めてひとが住んでいる街（広島市）に原爆が落とされた日ですが、北川小学校でも、6年生が修学旅行で広島市を訪れ、平和公園や資料館での平和学習に取り組んでいます。夏休み中の登校日を、8月6日にするのは、このヒロシマ原爆の日にあわせて、平和のことを考えてほしいという願いがあります。年々、被爆体験者の高齢化による原爆被害の伝承の減少と、太平洋戦争の記憶が風化していく中、平和学習として学校で取り組んでいけることを今後も継続していきたいと思います。

そのあと、各教室に分かれて本の読み聞かせを行い、感想を交流しました。

また、この日は、村納涼祭に向けての踊りの練習もあり、地域の井津さんと、濱渦さん、園田さんの三人にご指導いただきました。今年も、本番に向けて、よく練習できたようで、8月24日の納涼祭では、しっかりと踊ることができました。

ありがとうございました。



2 夏季休業中の大会(女子バレーボール部 男子卓球部)

8月24日(土)第73回高知県中学校バレーボール秋季選手権大会が中村中・高等学校体育館で行われ、北川中学校バレー部が出場しました。1回戦は三里中学校と戦いました。第1セット、2セットとも北川中学校が勝利し、2回戦進出することができました。しかし、2回戦対戦チーム野市中学校Bに2セットとも奪われ、残念ながら3回戦進出はできませんでした。今回の大会で明らかになった課題に懸命に取り組み改善し、次回の大会で納得のいく結果を出せるよう、新チームメンバー一丸となり練習に励んでいます。



8月9日(金)、8月10日(土)高知県中学学年別夏季卓球大会、中学1年生卓球大会が、春野総合体育館で開催され、北川中学校卓球部が出場しました。この2日間、シングルス、ダブルスと出場し、最高3回戦まで進むことができましたが、3回戦突破とはなりませんでした。次回9月の秋季大会こそは、4回戦進出できるように、毎日一生懸命練習に取り組み汗を流しています。

日頃より本校の部活動にご理解、ご協力いただき、心より感謝申し上げます。今後も、ご支援よろしくお願いいたします。



夏季休業中の朝ランの取り組み

夏休み中の朝7時45分からの朝ランにたくさんの生徒が参加し、自分の体調に合わせた取り組みができていました。この酷暑の中、懸命に努力を重ねたことは確実に体力的にも精神的にも自分の力になっています。2学期は体育大会(9/21)、校内駅伝(10/17)、安芸地区陸上大会(10/5)、安芸地区駅伝競争大会(10/26)とスポーツ関連の行事も目白押しです。残暑にも負けず、2学期も頑張っています！



中芸のゆずと森林鉄道日本遺産協議会

～中芸地域の日本遺産魅力発信便り vol.27～



お弓祭り(北川村)



立岡二号栈道(田野町)



旧市川医院(安田町)



中芸の夏祭りでゆずランプ作り

8月24日(土)「北川村納涼祭」と「第56回奈半利町港まつり」へ出展し、中芸地区森林鉄道遺産を保存・活用する会の方々の協力のもと、お祭りへ訪れた方と一緒にゆずランプを作成しました。ゆずランプとは、10月12日(土)～10月14日(月/祝)にかけて田野町で開催される「ゆずとりんてつイルミ @立岡二号栈道 銀河鉄道の夜」で立岡二号栈道を彩る灯りとなります。この日は、あいにくの雨模様でしたが、たくさんの方々にご参加してくれました。

ゆずランプの作成は、中芸の杉で作られたいくつかのパーツを組み合わせて、ゆずの形を作り上げていきます。パーツの向きを間違えるとゆずの形が歪んでしまうため、慎重に作業を進めないといけません。参加されたお子さんはご両親と一緒に、真剣な面持ちで、無事きれいなゆずランプを作ってくれました。

今後もゆずランプは、中芸のイベントなど様々な場所で作成をしていきます。ぜひ見かけた際にはゆずランプを作ってみてください。



第5回ゆずFeS開催決定!

第5回目となる中芸の魅力体験イベント「ゆずFeS」が開催決定となりました!開催期間は10月26日(土)～12月15日(日)の1ヶ月ほどを予定しています。ハロウィンに因んだプログラムや、ゆず最盛期のゆず狩り体験などを実施する予定です。中芸地域ならではの18プログラムが現在進行中です。

日本遺産に認定されるほどの中芸地域の魅力を体感しに来てください!ゆずFeSの最新情報はゆずとりんてつホームページ」や「ゆずFeSフェイスブック」などで随時更新予定です。パンフレットも作成中で、四国の道の駅や高知県内の観光施設へ配布予定です。今回もたくさんのご参加をお待ちしております。



ゆずFeSフェイスブックはこちらから!→



お問い合わせ: 中芸のゆずと森林鉄道日本遺産協議会事務局(中芸広域体育館内)

☎0887-30-1865

Mail:yuzurintetsu@mk.pikara.ne.jp

HP:http://yuzuroad.jp/「ゆずとりんてつ」で検索





在日米国人から見るアメリカの銃乱射問題

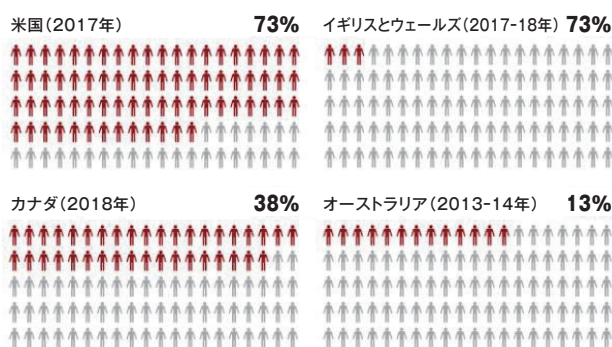
私は、現在の世の中で外国に暮らす米国人として、母国の時事や政治的な行為とその世界的な波紋にどう対応すれば良いか、毎日考えています。多くの日本人は米国に対して圧倒的にポジティブなイメージを抱えてくれて、本当にありがたいことですが、たまに母国がそのような期待に応えられるかが疑問です。今年、8月31日、テキサス州にて、1人の男性の乱暴な銃撃によって20人以上のけが人と7人の死亡者がでました。

この悲劇の犠牲者を悔やみ、遺族のことを祈っています。が、テキサス州政府の銃乱射への対応に呆れました。オーストラリアでは、これに似た事件後、銃規制を大きく強めたのに対し、テキサス州は事件翌日、9月1日より、新しく緩めた銃規制を実施しました。その結果、テキサスの州民は、銃器を車に置いて登校（先生の場合は出勤）する権利、大家の断りなしに部屋へ銃器を持ち込む権利、災害の際、銃器を自由に持ち歩く権利を取得しました。

8月31日の事件は、2019年の米国の297回目の銃乱射事件となりました。現在まで死亡者が335人、けが人が1,554人です。テキサス州の新しい規制とそれに似た規制の影響で、年末までに犠牲者はあと数百人が出るでしょう。

私は米国にいる時、このような恐ろしい状態の中に日常生活をすることさえ危険だと感じることがあります。ある銃乱射の件はイスラム教徒やLGBTなどのマイノリティーを狙う憎悪犯罪、ある事件は子供を犠牲にするスクール・シューティング、ある事件は当てもない乱発だと見なされます。その動機のいずれかに関わらず、銃乱射事件はいずれも無視しがたい社会問題の証拠となっています。現在、子ども達は学校で防災訓練や防火訓練だけでなく、防銃乱射訓練もしなければなりません。ショッピングモールなどの公然な場所に行く時、恐怖を感じます。米国にいる私の家族や友達の安全はいつでも気がかりです。

もちろん、このような社会問題を許し、止めようとしめない国の国民でいることを恥ずかしく思い、銃規制の強化を強く要求する米国人は少なくありません。私もその一人ですが、銃規制がしっかりしていて、比較的安全な日本に住むようになって、更にこの考え方が深まりました。今後の悲劇を防ぐために防銃乱射訓練は何の役にも立ちません。オーストラリアの反応を例に米国も銃規制をなるべく早く改善すべきです。



引用：FBI殺人インデックス事務局、統計カナダ、オーストラリア犯罪統計
出所：BBC：https://www.bbc.com/news/world-us-canada-41488081/



ハロウィーンの由来

現在、世界中の人々がハロウィーンを祝っていますが、ハロウィーンという伝統はどこから始まったか、ご存知ですか？現在のアイルランドが立国する前からアイルランド人がハロウィーンを祝っています。あそこに住んでいたケルト民族は10月31日を夏の終わり、そして新年の始まりと見なしていました。ケルト民族の信仰によると、ハロウィーンの間、人間の世界と幽霊の世界が一つとなり、幽霊はいたずらをするために生きた人の世界へ入り込みます。ケルト民族は「ドルイド」という聖職者がハロウィーンの時、未来を占うことが出来るとも信じていました。それで、神様を喜ばせ、占いが出来るために、ケルト民族の人たちは動物の仮装をして大きな焚き火をしていました。時代の移りに絶えず、今でも世界中の子供達は仮装してハロウィーンを祝っています。



北川中学校生徒 海外派遣事業



「たくさんのことを学べた」

私の十日間

二年 濱渦 葵

私は十日間、オーストラリアにホームステイに行っていました。行く前は不安しありませんでしたが、実際に行ってみると現地の人やホストファミリーもすごく優しく、日本に帰りたいくないと思うくらい楽しかったです。

私はオーストラリアに行き、日本との違いを感じることがいくつあるのです。その二つを紹介します。現地に到着して初日に、海に行きました。その海へは歩いて向かっていたのですが、見たことも会ったこともない人と目が合うと「ハロー」とあいさつをされました。あいさつをされた後には一緒に話をしていました。実際に私たち七人はあいさつをした男性の方と日本や高知の話をしました。初めて会った人とあいさつを交わしたり話をしたりしたのはその日だけではありません。オーストラリアの大きなスーパーマーケットへ行くとレジに行く、店員の方が「調子はどう」とあいさつをしてくれました。レジや路上で初めて会った人とあいさつや会話をするなんて日本ではあまり見かけません。他にも、お会計をする際に、慣れないオーストラリアのお金に手こずっていると、財布の中を見て教えてくれました。天気の良い日には、街やスーパーマーケットなどを裸足で歩いている人もいます。私はこのようなことからオーストラリアの人は、心優しくて陽気で自由なのかなと思

いました。オーストラリアは緊張感がなくてすごく居やすかったです。気楽で過ごしやすかったです。

私達は、オーストラリアの語学学校へも行きました。学校では授業も受けたのですが、やっぱり本場の英語は違いました。最初の一日は何を言っているのか全く分からなくて授業についていけません。でも二日目には、少し慣れてなんとか何を言っているのか分かるようになりました。語学学校なので色々な国の人が来ていました。私の隣にいた女の子二人は中国系の人でしたが、英語がペラペラでした。休み時間にはその女の子二人が話しかけてくれました。私はその二人に日本語を教えたりして、会話をすることができました。最初は相手の言っている事が分からなかったし、自分の言っている事も伝わりませんでした。でも、相手の言っている事を理解でき、自分の言いたい事が相手に伝わった時はすごく嬉しかったです。その後、授業の隣の男の子にインタビューをしたりしてとても楽しかったです。勉強になりました。

私はこの十日間を通して、日本との文化の違いをたくさん学び、視野を広げることができました。本物の英語にも触れ、話し、より一層英語を好きになりました。今回の経験を活かし、これまでよりももっと英語を勉強して英語を操れるようになりたいです。そして将来は、日本だけでなく世界で活躍できる人間になりたいです。

「海外派遣事業体験感想文」

二年 吉田 天来

今回の海外派遣事業で、私は日本ではできない様々なことを体験できました。

二つ目は、オーストラリア行き航空での事でした。飛行機に乗る時に、外国人のO.V.の方に搭乗券を見せると、案内される前に少し会話をしました。日本では案内をされるだけなので、少しおどろきました。しかし、それまでの少しの緊張が、O.V.の方との会話で無くなりました。少しの会話だけで、相手と打ち解けられたような気持ちになりました。

二つ目は、ホームステイ先での出来事でした。一日目は、ホストファミリーが何を言っているのか全くわからなくて、コミュニケーションがとれませんでした。でも、なんとか自分の言いたいことを伝えるために、ジェスチャーや表情を使って伝えようとしてみるとホストファミリーとコミュニケーションがとれました。三日目ごろは、なんとなく言っていることがわかるようになり、単語同士をつないだりして会話もたくさんできました。ホストファミリーの子供達ともたくさん遊ぶことができました。言葉だけにたよらず、ジェスチャーなどを使っても、コミュニケーションをとれるということを学びました。

また、ホストファミリーに北川村のことも話しました。興味を持ってくれたり、日本語を知っていたことがとてもうれしかったです。

「オーストラリアで 経験したこと」

三年 岡嶋 愛

三つ目は、観光地でのことです。飲食店でのサービスや観光地の紹介ポスターは、北川村のロゴの参考になりました。今回の体験で学んだことを、北川村のロゴにも役立てたいです。

四つ目は、すべての場所を感じたことです。オーストラリアの人々は、とてもフレンドリーで、いつも笑顔で話しかけてくれました。私は、最初は緊張していたけど、オーストラリアの人々の笑顔につられて、日が過ぎるうちに、自分から笑顔で話しかけられるようになりまし

た。それがとても楽しくて、もっとたくさんの人と英語で話してみたいと思いました。今回の体験で、ものの見方、考え方がとても変わりました。ホームステイ先の方々とたくさん話せてとても楽しかったです。

しかし、楽しかった思いと同時に、言葉の壁も少し感じました。もっとたくさんの方と話せるように、英語を今以上に勉強したいです。自分のステイリストという夢が世界で叶うように、今回の体験を活かして、様々なことにチャレンジして、もっと世界を広げたいです。英語を使いこなせるようになって、またオーストラリアへ行きたいです。オーストラリアだけでなく、他の国へも行つて、たくさん

のことを知りたいと、今まで以上に思えるようになった十日間でした。

私は今回オーストラリア海外派遣に参加して、初めて経験したこと、これからの生活で活かしたいことがたくさんありました。

まず二つ目の経験は、日本から離れて初めて外国へ行ったことです。飛行機から降りたときから、空気も人も全く違いました。着いたとき、ここがオーストラリアか！とすぐワクワクしました。

観光について一番感じたことは、やはりオーストラリアは自然がとても美しいことです。とにかく目に映るすべてのものがキレイでした。太陽の光が強くて、空には雲が一つもかかってなくて、歩いていて気持ち良かったです。観光していると、たくさんの方とオーストラリア人に出会います。私が一番おどろいたのは、オーストラリア人は知らない人にも気軽に「コミュニケーションをとっていたことです。私がお店に入ったとき、店員さんは優しく声をかけてくれました。このようにどんな人ともフレンドリーに会話できるのはオーストラリアならではのすごく良い特徴だなと感じました。

STATIONという語学学校にも行きました。STATIONでは、授業中英語で会話をしました。最初は慣れない環境で少し大変だったけど、少しずつ慣れクラ

スみんな楽しんで時間を過ごすことができました。台湾の友達もできたので、休み時間たくさん話しました。昼からはアクティビ

ティで、アボリジニの文化を学んだり、ブーメランを作ったり、日本にはないオーストラリアならではの文化を学ぶことができました。あつという間の二日間でした。

ホームステイは、本当に良い経験でした。ホストマザーのケイさんは、とても親切で私たちのことをいつも気にかけてくれました。ごはんは毎日すごくおいしかったです。ショッピングモールや映画館にも連れていってくれ、とてもよい時間を過ごすことができました。

私が一番見たかったオーストラリア特有の動物もたくさん見ることができました。すごく間近で見れたので、とても嬉しかったです。カ

ンガルにも触れ合うことができました。私はこのオーストラリア海外派遣を通して、改めて世界の広さを感じました。そして自分とは違う価値観や考え方を知ることができました。また、ホームステイ先では自分から手伝いをしたり、したいことを伝えて積極的に行動に起こすことができました。英語力も、旅行前と比べて力がついたと思います。私は、この十日間で学んだこと、経験したことを活かし、将来につなげたいです。そしてオーストラリアで身につけた英語力が自分の自信になりました。

「初めての海外」

三年 宮田 舞都

私は、オーストラリアのホームステイが、とても良い経験になったと感じています。私は海外に行

くこと自体、今回のオーストラリアが初めてでした。楽しみでワクワクしていましたがその反面、不安や緊張も大きかったです。特に、ホストファミリーとの対面はとても緊張しました。でも、これまで学習してきたことを活かして、たくさんコミュニケーションをとることができました。

オーストラリアではシャフストンという語学学校へ二日間通いました。私は、特進クラスに入ることができ、たくさん英語を学べました。初めはおどおどしていましたが、クラスメイトや先生方がとても優しくなったのですぐに馴染めました。授業が終わると、ホストマザー手作りの美味しい美味しいお弁当を食べ、午後はアクティビティでした。アクティビティは、他の学校から海外派遣にきている方々と一緒に活動をするので、友達もできてコミュニケーション能力が高まったように感じます。新しくできた友達と、オーストラリアと日本の違いについて話したりもしました。例えば、スーパーのカーットの大きさです。オーストラリアのカートはびっくりするほど大きかったです。その他にも、料理の味付けや身の周りの施設、設備などの違いをたくさん発見してきました。これも、なにかに活かすことができましたら良いなと思います。

私が一番楽しかったと思う場所は、ムービーワールドです。遊園地にはたくさんの方の乗り物があり、分らないことを英語で尋ねることもできたし、面白い物をする

こともできました。乗り物を楽しむと同時に困ったときの言い方、

買い物の仕方を学ぶことができて良かったです。

オーストラリアに行き、英語に囲まれた生活は、英語が大好きな私にとって最高の時間でした。相手の言葉が分かったとき、自分の言いたいことが伝わったときはとても嬉しかったです。また、新しく知った言葉や自分との発音の違いがたくさんあったので、これから意識して英語力をアップしていきたいと思っています。このホームステイを通して、自分の課題に気づくことができたり、外国の文化について知れたりすることができて良かったです。今回の海外派遣で習得した英語力を活かして、英検準二級に絶対合格したいです。

最後に、ホームステイと一緒に

行った仲間、お世話してくださった方々、海外派遣事業の企画運営、手続きをしてくださった方々のおかげでこんなに楽しい時間を過ごせました。また、機会があれば海外に行きたいです。

「海外派遣事業」

三年 池田 みなみ

私は海外派遣事業でオーストラリアに七月二十二日から三十一日の十日間、行かせてもらいま

した。二日目のゴールドコースト市内観光では、人工的に作った砂浜を見たり、七十七階あるビルに入り市内を見たりしました。それを見て私は、市内全体が観光客への配

慮がしてあつてすごいなと思いました。

そして、四日目から通うことになった学校では、私を含め日本人生徒三人でそれ以外は台湾人の生徒ばかりでした。しかし、先生や生徒みんなで英語でコミュニケーションをして通じ合っていたので、英語を学ぶことは大切だと思いました。

さらに、オーストラリアでは、日本以上に節約や交通安全への考え方が高いと思いました。私たちがお世話になったホストファミリーのお家は、オーストラリアは水不足だからお風呂の時間が短いのはもちろん、電気までも節約をしていました。無駄なものを使わないという考えは私たちも見習った方が良いと思いました。オーストラリアでの移動で車やバスに乗るときは、必ずシートベルトをしななければいけなかったのが、安全だし、事故が起きてもけが人が減ると思うので、これは日本でも続けていった方が良いなと思いました。

私はこのオーストラリアの海外派遣事業で一番よかったと思ったことは、ホストファミリーとの交流です。ホストマザーはいつも私たちの意見をきいてくれたり、通じなかった英語を書いて説明するか、日本語に訳してくれたたりしました。国がちがいがい母国語もちがう私たちを、家族のようにうけ入れてくれたホストマザーには感謝しかありません。ドライブにつれていつてくれたときは、色々な所の説明をしてくれたし、いっしょにテレビを見るときは、色々な番組を教えてくださいました。ホストファミ

リーは、数日間他国の人とふれあうことができ、すぐに仲良くなれる場だと私は思います。

私は、英語の実力を上げるという目標を立て、オーストラリアに行きました。しかし、数日海外に行つて上達するわけもなく行く前とあまり変わりませんでした。それでも、外国に家族ができ、色々な伝統を直で学ぶことができたのは、私の人生のなかで良い体験になりました。海外派遣事業に参加できて本当によかったです。

「海外派遣事業を通して」

三年 手嶋 かの

私たちは四日間、ホームステイを行いそのうちの三日間は学校に通いました。

ホームステイでは、たくさんのことを学ぶことができました。例えば、オーストラリアでは、あまり雨が降らないので水がとても貴重で節水に心がけていることです。ホストマザーに四分しかシャワーが使えないと言われたときはとても驚きました。他にも、ゴールドコーストで毎年たくさん日本人観光客が亡くなっていることをホストマザーからききました。その日本人達は、夜お酒を飲みゴールドコーストでサーフィンをしおぼれて亡くなるそうです。ホストマザーはこの日本人達のことをクレイジーピーポーと言っていました。私は、日本人がこんなかたちで亡くなっていると知りショックでした。

学校では、たくさんのグループ活動があり海外から来た学生と交流をはかることができました。そのなかで自分の英語力を試すことができました。最終日にリスニングのグループ活動がありました。私は、中国から来た学生の英語をリスニングしたのですが全く分かりませんでした。日本で習った発音と違う発音をするからです。また、次は自分が英語のスピーチをし伝える番だったので発音が上手に出来ず、同じ日本人の学生には通じるのですが中国人の学生には全然通じませんでした。私は、このことを通じて自分の英語力はまだまだだと思いました。英文を書くことは出来ても英語をききとったり話したりする能力がついていないと思いました。また、生きた英語はこの事業に参加してないと感ずることができなかったなあと改めて思いました。

ホームステイ以外の四日間はブリスベンとシドニーの観光でした。私達は、二日目のブリスベンの町を、見る事ができる七十七階建てのビルが一番上の階に上りました。とてもきれいな景色でした。ブリスベンの町は場所によって百八十度異なる景色でした。一方は、美しい浜辺と海を見ることができもう一方はたくさん住宅と山々を見ることができました。私は、オーストラリアはとても広いなあと思いました。また、地元スーパーに行きました。オーストラリアの人達の生活を知ることができたので良かったです。

この海外派遣事業を通して海外の様々な文化や考え方、価値観を学ぶことが出来良かったです。

また、自分の英語力を知るきっかけにもなりました。

今回の事業に携わった関係者の方々、私達にこのような機会をつくっていただき本当にありがとうございました。

「夏の思い出」

三年 濱渦 里

私は、七月二十二日から七月三十日の間に、海外派遣に行きました。

まず一日目は、日本からオーストラリアへの移動でした。飛行機で長時間移動したことがなかったので、二日目は少し疲れました。

二日目は、ゴールドコーストを観光しました。そこは、すごく海がきれいでビルからの景色も最高でした。

三日目は、ブリスベン市内を観光しました。市内にある動物園で、私は初めてコアラを見たのですが、すごく可愛かったです。他にもオーストラリアならではの動物が沢山いて楽しかったです。

四日目の七月二十五日から二十八日までホームステイでした。ホストファミリーはとても気さくで、よく話かけてくださいました。お土産もすごく喜んでくださって、気に入っている様子でした。語学学校では、色々な国の人がいましたが、特に海外派遣で来ている日本人が多かったです。そのこともあり、クラスには日本人ばかりいて、友達はずいぶんできたので、安心できました。お昼には、ホストマザーに作っていただいた

お弁当を食べました。ホストマザーとホストファミリーの作る料理は、チキン、タコス、ビーフシチュー、ピザと様々で、どれも美味しかったです。ホストファミリーとお別れする時、お土産とアルバムをいただきました。また会えたら良いなと思います。

八日目は、シドニーへ移動しました。オーストラリア博物館には、見たことのない物が沢山あって楽しかったです。私は動物が好きなので、動物の展示が見ていて、一番楽しかったです。その次に、聖メアリー大聖堂に行きました。雰囲気は少し怖かったけど、そのステンドグラスはとてもきれいでした。最後にハーバリッジを歩きました。高かったけど、下が見えづらかったので残念でした。

九日目は、シドニー市内を観光しました。オペラハウス周辺では、写真を撮っている人が沢山いました。次に、マッコーリー岬に行きました。そこは海がよく見える、とてもすてきな場所でした。次に、コガルーというお店でお土産を沢山買いました。全部可愛くて、お土産を選ぶのにすごく時間がかかりました。その日は日本行きの飛行機に乗り、十日目に高知に到着しました。

この十日間の海外派遣を体験して私はもっと英語がしゃべれるようになりたいと思いました。そしてもっと向こうの人と会話出来るようになりたいです。この十日間はすごく貴重なものでした。

全 国 地 域 安 全 運 動

10月11日(金)～10月20日(日)

今年も、全国一斉に地域安全運動が実施されます！
期間中、安芸地区地域安全協会と安芸警察署では、地域安全推進員をはじめとする自主防犯組織のタウンポリスなど、地域の防犯団体と連携して

「みんなで つくろう 安心の街」

をスローガンに、地域安全運動を推進するため各種行事を予定しています。

皆さんもこの期間に、地域の安全や家庭の防犯について確認しあい、事件・事故のない安心安全な街づくり・家庭づくりに取り組みましょう。

安芸地区地域安全協会・安芸警察署



8月30日に野菜の日のキャンペーンとして、北川村食生活改善推進協議会が「野菜たっぷりランチ」を総合保健福祉センターで行い、野菜の摂取や生活習慣病の予防を呼びかけました。集まった地域の方々は、夏野菜のかき揚げや茄子の甘味噌炒めなど心のこもった料理を食べながら、楽しいひとときを過ごされていました。



短歌教室

ごいさぎが 人の心も 知らずして
稲を踏みこみ ふみこみ渡る
大西 豊

傘にあたる 雨には雨の 弾みあり
今日行きて 会はねばならぬ 人居り
浜渦 静子

刈り終えし 田の面に小さき 名もしらぬ
むらさき色の 花の咲くみゆ
杜城 芳子

早いもの 八月も早や 今日迄
九月と聞けば もう気持ち良い
大寺 一子

ぜいたくに 役者集まる 「なつ空」の
スターはやっぱり 草刈正雄
浜渦美恵子

田村猪世子 (平成26・8作)
野根山に 立ち上がる雲 うごかざり
夏追いやりて 秋を呼ぶらし

ご冥福をお祈りします

氏名 年齢 地区 死亡月日

濱渦 浩 91歳 野川中村 7月17日
竹村 紀代 70歳 加茂 7月19日

ご存じですか？ 被災建築物応急危険度判定



地震で被災した建物について、余震で倒壊するなどの危険性があるかどうかを判定して表示を行うものです。国や地方公共団体、建築関係団体などが連携し、被災地域に判定士を派遣して行います。

大きな地震が起きると建物は少なからずダメージを受け、倒壊は免れていても地震に対する強さが弱まっている可能性があります。大きな地震の後には数回の余震が予想されますが、弱くなった建物は、余震によって倒壊したり部材が落下したりして人的被害を起こしかねません。このため、被災者がそのまま家にいていいのか、避難所に避難した方がいいのかなどを判断するために、救命・救急・消防活動と並行してできるだけ速やかに応急危険度判定を行う必要があります。

判定結果は3種類のステッカーを建物の出入口などに
貼り付けて表示します。
ステッカーはそれぞれA3サイズです。

(緑)



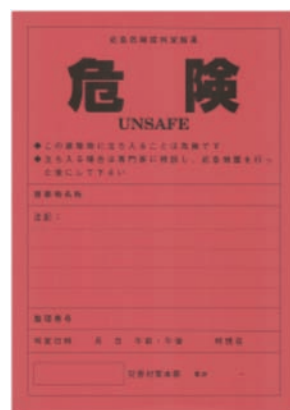
この建物は使用可能です

(黄)



この建物に立ち入る場合は
十分に注意してください

(赤)



この建物に立ち入ることは
危険です

それぞれの目的をご理解いただき、判定のための調査の際にはご協力くださいますようお願いいたします。

年金相談・お手続きの際は、ぜひご予約を！

1000 年・金・だ・より

日本年金機構の全国の年金事務所では、年金相談や年金請求手続きについて、「事前予約」を行っています。お待たせ時間の少ない予約相談をぜひご利用ください。

- ・ 予約相談希望日の1ヶ月前から前日まで受付しています。
- ・ お申し込みの際は、基礎年金番号のわかるもの(年金手帳や年金証書など)をご用意ください。

ご予約方法は、全国共通の予約専用受付電話(0570-05-4890)またはお近くの年金事務所(南国年金事務所:088-864-1111)にお電話しお申し込みください。

出張年金相談開設日程(南国)

10月 3日(木) 10:00~12:00 / 13:00~15:00	安芸市総合社会福祉センター 予約制(南国年金事務所へ申し込み)
10月24日(木) 11:00~12:00 / 13:00~15:00	室戸市役所 予約制(室戸市役所または南国年金事務所へ申し込み)

南国年金事務所における年金相談時間は下記のとおりです

○平日の年金相談

- ・ 月曜日(月曜日が休日の場合は翌開所日になります)
8:30~19:00
- ・ 火曜日~金曜日 8:30~17:15

○週末の年金相談

- ・ 10月12日(第2土曜日)
9:30~16:00(通常の業務日より相談ブース数は若干少なくなっています)

保健だより

高齢化社会を迎えている日本では、平均寿命は80歳に達し、運動器の障害によって日常生活に支援や介護が必要となる方が増加しています。転倒、骨折や関節の病気など運動器の障害をきっかけに日常生活の自立度が下がりやすいことがわかっています。

今回は、運動器の故障を予防するために、ロコモティブシンドロームについて紹介します。

ロコモティブ
シンドローム?



ロコモティブシンドロームについて

ロコモティブシンドローム(略称ロコモ)は、骨、関節、軟骨、椎間板、筋肉といった運動器のいずれか、あるいは複数に障害が起こり、「立つ」「歩く」といった機能が低下した状態をいいます。

ロコモ対策は若いうちから!

骨や筋肉量のピークは、およそ20~30代です。

骨や筋肉は、適度な運動や生活活動で刺激を与え、適切な栄養を摂ることで、強く丈夫に維持されます。弱った骨や筋肉では、60代以降、思うように動けない身体になってしまう可能性があります。

ロコモーショントレーニングで元気な足腰を!

①バランス能力をつける「片脚立ち」

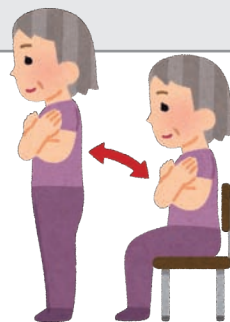
目を開けた状態で、左右どちらかの足を上げ片足立ちをしましょう。

(注意) 転ばないように必ずつかまるものがある場所で行いましょう。

②脚の筋力をつける「スクワット」

椅子に腰かけるように、お尻をゆっくりおろします。

(注意) 安全の為、椅子やソファの前で行いましょう。



こんな食事は要注意!

- ・ご飯と漬物や煮物のみ
- ・パンや麺のみ

タンパク質
不足!!

少量しか食べられない
忙しくて食事の時間がとれない

間食で栄養補給!

たんぱく質の多いおやつや
栄養補助食品など

食事でロコモ予防!

毎日バランス良く食べて
必要な栄養素をとりましょう。





外遊び

8月2日(金)



室内遊び

9月2日(月)



プール遊び

8月8日(木)、9月2日(月)



行事予定表

事業	実施年月日	実施時間	実施場所・引き取り場所
乳児検診	10月2日(水)	(受付)12:45~13:30	奈半利町町民会館
1歳6ヵ月・3歳児健診	10月16日(水)	(受付)12:45~13:30	奈半利町保健センター
野友介護予防教室	10月3日(木)・10日(木)・17日(木)・24日(水)・31日(木)	10:00~	北川村保健センター
加茂介護予防教室	10月4日(金)・11日(金)・18日(金)・25日(金)	10:00~	北川村農業センター
久府付介護予防教室	10月2日(水)・9日(水)・16日(水)・23日(水)・30日(水)	10:00~	北川村農村婦人の家
柏木・崎山介護予防教室	10月3日(木)・10日(木)・17日(木)・24日(水)・31日(木)	13:30~	柏木交流センター
野川さくら会	10月2日(水)・9日(水)・16日(水)・23日(水)・30日(水)	9:30~	野川交流センター
長山せせらぎ会	10月1日(火)・8日(火)・15日(火)・22日(火)・29日(火)	9:30~	長山交流センター
宗ノ上介護予防教室	10月3日(木)・10日(木)・17日(木)・24日(水)・31日(木)	13:30~	宗ノ上集会所
中部けんこうクラブ	10月4日(金)・11日(金)・18日(金)・25日(金)	9:00~	小島集会所
小川ふれんど	10月15日(火)	10:30~	菅ノ上集会所
ぺちやくちゃ会	10月2日(水)	10:00~	北川村保健センター
親子ふれあい広場	毎週木曜日	9:00~16:00	北川村保健センター
ゆずみどり	毎週木曜日	9:00~	北川村保健センター